

祭りはもう終わったのか
子供たちは月を追い始めた
夏が溶けていく音は
いつだって空気を伝わらない

一年に一度この日だけは
ほんのわずかでも届くかもしれない
希望なのか絶望なのか
わからない印を求め続けて
ずっと木の根にしがみついている
僕は線香花火

この世で咲いたら
あの世で種になり
いつか芽が出るはず

迷い込み元に戻る音
駆け抜けていくついでに
誰かが捨てて行ったビニール袋
その中に黒い瞳

僕は見つけられた
少しずつつ水が漏れ出て
魂を柔らかくする
狭間の世界で君は
どちらを選びたいのかな
水が抜けきっても
瞳には光があった

祭りはゆっくりと続いていく
僕たちは空間を歪ませて
夏を吸い込んだ
いつかは終わる いつかはいつか

無責任 十八号



八月にはたましいがかるくなります水彩絵の具のあおになります

浮島

無責任 十八号
責任者 清水らくは
副責任者 浮島
発行日 2013年8月1日